



第6章 きずく

政策目標 みんなで築く力強いまち

施策の体系

施 策	主 要 施 策	主要施策コード
1 参画と協働の推進	1 住民参画の推進	6-1-1
	2 広報・広聴機能の充実	6-1-2
	3 男女共同参画の推進	6-1-3
2 交流活動の推進	1 住民交流の促進	6-2-1
	2 地域間交流の推進	6-2-2
	3 国際交流活動の推進	6-2-3
3 戦略的な行財政運営の推進	1 行政サービスの向上	6-3-1
	2 健全な財政運営	6-3-2
	3 広域行政の推進	6-3-3

関連する個別計画

○棚倉町男女共同参画基本計画 ○定員適正化計画 ○棚倉町行政改革大綱

施策1 参画と協働の推進

◎施策の目標

多様化する地域の課題にきめ細かに対応していくために、住民と事業者、行政等がそれぞれの役割を理解し、一体となった協働のまちづくりの構築を目指します。

また、積極的な行政情報の公開と発信や住民の提案や意見を施策に反映させる仕組みづくりなど、住民参画の推進に向け、広報・広聴機能を充実します。

◎現状と課題

- NPO法人やボランティア団体など市民活動団体の活性化に向け、支援のあり方の検討や各団体をつなぐネットワークの強化等が必要です。
- 住民同士の交流をさらに促進するためには、地域における人材の育成や自発的な情報収集と参画意識の共有などを進める必要があります。
- 個人情報の保護に十分配慮しながら、透明性の高い町政を推進するため、充実した広報と広い広聴機能を推進する必要があります。
- 町民アンケート調査において、地域活動やボランティア活動への参加については、「特に参加したいとは思わない」が最も多い回答でした。





◎主要施策

①住民参画の推進

- ・住民と行政がそれぞれの役割を理解し合い、ともに地域課題に取り組む協働のまちづくりの推進のため、活動の中心となる団体やリーダーの育成に努めます。
- ・町の重要な施策形成に当たっては、パブリック・コメント^{*}制度を利用するとともに、ニーズ調査やアンケート調査の実施などにより、住民の意見や要望を的確に把握することに努めます。

②広報・広聴機能の充実

- ・分かりやすい広報紙の作成とホームページや防災行政無線による常に新鮮な情報提供に努めます。
- ・フェイスブック^{*}などのSNS^{*}情報媒体を活用しつつ、町内外へ特色のある情報発信に努めます。
- ・住民と行政が一体となってまちづくりを推進するため、広聴機能の充実を図り、行政に対して意見が提案しやすい環境づくりに努めます。

③男女共同参画^{*}の推進

- ・男女がともに社会参画できる社会の実現のため、「棚倉町男女共同参画基本計画」に基づき、学習機会や情報提供及び啓発活動の充実に努めます。



◎施策の指標

	指 標 名	単位	現 状 値	目 標 値
1	町ホームページのアクセス件数	件 / 年	158,288	174,200
2	パブリック・コメント実施件数	件	0	3

◎住民の役割

- ・まちづくりに積極的に参加しましょう。
- ・必要とする情報を自ら収集しましょう。

施策2 交流活動の推進

◎施策の目標

地域における住民同士の特色ある交流活動を積極的に促進し、住民の多様な交流活動を支援しながら地域が元気なまちを目指します。

また、友好都市を中心に交流を深め、地域特性を生かしつつ、互いに役割分担をしながら魅力あるまちづくりを推進します。

さらには、住民の国際交流や国際親善についての理解と関心を高め、幅広い国際交流活動を推進します。

◎現状と課題

- 地域内交流の拠点となる集会施設が安全で安心に利用できるよう支援をする必要があります。
- 地域内の充実した交流を促進するため、人材の育成と自発的な参画意識の共有などが必要です。
- 友好都市を中心とした交流活動を強化するとともに、住民同士のつながりについて支援していく必要があります。
- 国際交流のホームステイ事業等の参加者や協力者が減少しています。
- 活性化協会を中心とした交流事業の促進を図る必要があります。



◎主要施策

①住民交流の促進

- ・町立図書館や地域の集会施設を活用し、地域における交流活動の参加意識を高めるよう、住民同士の交流を促進します。
- ・住民の交流拠点となる地域集会施設の整備や改修を支援していきます。
- ・住民の地域コミュニティ活動に対する参加意識向上のため、行政区や各種団体への加入促進を図ります。
- ・住民同士の交流の場としてルネサンス棚倉の施設利用を促進するとともに、住民ニーズに合わせた施設運営を図ります。

②地域間交流の推進

- ・ 埼玉県川越市をはじめ、これまでの交流事業を展開しながら住民同士の交流を促進します。
- ・ 近隣市町村との交流を図るとともに、歴史や産業などのつながりのある市町村との交流機会の拡大に努めます。

③国際交流活動の推進

- ・外国の姉妹都市との円滑な交流と事業の展開を進めます。
- ・外国人との身近な交流機会の拡充や、ホームステイ事業など国際交流の推進に努めます。

◎施策の指標

	指 標 名	単位	現 状 値	目 標 値
1	行政区加入率	%	76.23	78.0
2	川越市との交流事業参加者数	人 / 年	387	500

◎住民の役割

- ・行政区に加入し地域の行事に参加しましょう。
- ・友好都市や姉妹都市との交流事業に積極的に参加しましょう。

施策3 戦略的な行財政運営の推進

◎施策の目標

限られた行財政資源を最大限有効活用しながら、民間活力の活用により行政サービスの質の維持向上に努め、戦略的な行財政運営を目指します。

また、意欲と行動力のある職員の育成と柔軟かつ機動的な組織体制づくりを進め、町民生活の質の向上に資する町政運営を進めます。

さらには、安定した財政基盤の確立を目指し、引き続き健全な財政運営を推進します。

◎現状と課題

- 地方分権の進展により、地方自治体は自らの責任と判断で政策を立案・執行し、その結果についても責任を負う、自立した行政運営が求められています。
- 公共施設の指定管理者制度^{*}の活用など、一層の民間活力を導入について検討する必要があります。
- 限られた職員数でより効果的な行政サービスを提供するため、効率的な組織の体制と職員の意識改革が求められています。
- 町民の満足度向上と行政運営の効率化を図るため、町民視点に立った窓口サービスの充実を図る必要があります。
- 町民ニーズの多様化に伴い、町域を越えた質の高い行政サービスを提供するため、広域的な取り組みや近隣市町村との連携を図る必要があります。
- 町民アンケート調査において、健全な行財政運営に重要なことは、「職員の能力・資質の向上や意識改革」が最も多い回答でした。



